

さまざま
な顔がある

ここの自然は特別なんだと思う

根室十景

ねむろじっけい

ここでは風蓮湖・春国岱(N-1、N-2)を除いた、「根室十景」(N-3～N-10)とそのほかの見どころをご紹介します。それぞれ、魅力がいろいろ。春・夏・秋・冬、自然が創り出す美しさや厳しい風土には、人の「こころ」をすがすがしくする引力が働いているようです。

納沙布岬 N-6



日本で一番早く朝日と出会う場所、本土最東端の岬「納沙布岬」。先端に建つ灯台(昭和5年建設)の歴史も古く、最初は明治5年に点灯されており北海道最古のものでした。周辺には四島(しま)のかけ橋が建つ「望郷の岬公園」をはじめ、各種施設が充実。

北方原生花園 N-5

広さがなんと約75haの原生花園。木道を歩けば、まるでおとぎの国にいる気分…。初夏から秋にかけて約100種に及ぶ花々が咲き誇ります。代表的な花は「ヒオウギアヤメ」「エゾカンゾウ」など、見ごろは6月下旬から7月下旬。



落石岬 N-7



太平洋に突き出した岬、落石岬。散策道を歩けば、自生の南限地として国の天然記念物に指定されている「サカイツツジ」(見ごろは6月上旬)に出会えます。一帯にはアカエゾマツの純林が広がり、湿地には花々…。眼下には太平洋の荒波と見どころもいっぱい。

浜松海岸 N-8



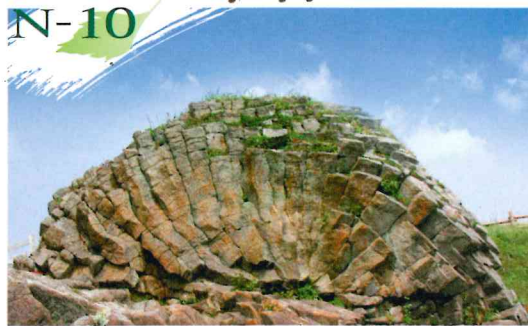
浜松海岸は落石岬を少し北上した、数kmに及ぶ砂浜の海岸。沖合に、北海道の天然記念物になっている、ユリ島、モユリ島が望め、島は珍鳥エトビリカやアザラシ、ラッコなどの繁殖地になっています。

温根沼 N-3



エゾマツに囲まれた、周囲15kmの湖、「温根沼」。根室湾につながっており、干潮時には沖合まで砂洲となり、アサリやホッキ貝などが獲れます。根室市内への入り口となる温根沼大橋の優美なデザインも見どころです。

花咲灯台車石 N-10



ここが海底であったことを物語る、枕状溶岩の固まり。車輪を思わせるような玄武岩の放射状節理で、直径は6m。海底火山が噴火すると、その熱いドロドロの溶岩が海水中で冷やされます。この溶岩は今から約6000万年前に冷えて固まったと推察されており、国の天然記念物にも指定されています。

長節湖 N-9



針葉樹と広葉樹の混交林に囲まれた、周囲5kmの美しい湖はバードウォッチングやハイキングに最適、冬は水上ヨットやワカサギ釣りも楽しめます。湖畔の遊歩道は一周約90分、静寂の中に45体の観音像が安置されていて、お参りもできます。

まだまだあるよ～根室の自然～



トーサムポロ沼

「こんなところに湖がある…」そんなさりげない自然が待っている「トーサムポロ沼」。納沙布岬から約5km。



北太平洋シーサイドライン

落石方向から浜松海岸方向へ向かう、道道142号線は太平洋を見渡す快道ルート。変化に富んだ海岸線が楽しめます。



ミズナラの風衝林

根室半島の風衝林は、海峡を渡って吹き付ける強い風、潮しぶきなどにより成長過程で曲がり、変形した独特のミズナラ林です。根室市の文化財にも指定されています。



千島桜

日本で一番遅く咲く桜が根室の千島桜。5月下旬の開花時期には、ピンクの花びらと桜の香りで少し遅い春の訪れを感じてください。



明治公園 N-4

明治8年(1875年)に国が創設した牧場(北海道で二番目に古い)の跡地を利用した公園です。昭和初期に建てられた3基のレンガ造りのサイロがシンボル。